

生活者 通信

生活と政治をつなぐ情報紙

No.372
2022.9.1

東京・生活者ネットワーク

発行 東京・生活者ネットワーク
〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-19-13 ASK ビル4・5階
TEL.03-3200-9189 FAX.03-3200-9274
Eメール tokyo@seikatsusha.net
URL https://www.seikatsusha.me
発行責任者 山内玲子
定価 年間1000円・1部100円 郵便振替口座 00130-3-18417
毎月1回1日発行 1994年5月23日第三種郵便物認可

生活者ネットワーク3つのルール

1

議員は交代制(ローテーション)

生活者ネットワークの議員は、最長でも3期12年で交代します。議員を職業化・特権化せず、世代交代を進めることで参加の層を広げます。任期を終えた議員は、市民政治を広げるための活動や地域活動などに、その経験を活かします。

2

議員報酬は市民の政治活動資金に

生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。議員報酬は、市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開し、政治資金の透明化をはかっています。

3

選挙はカンパとボランティアで

選挙は、政治に参加する入り口です。みんなでお金(カンパ)と知恵や労力(ボランティア)を出し合い、選挙を行います。

都議会ネット

■東京都議会2022年第3回定例会の開催:9月20日～10月7日。代表質問:9月28日(水)、一般質問:9月29日(木)。

地域ネット

品川ネット

9月25日(日)告示、10月2日(日)投票の品川区議会議員補欠選挙に、新人のいながき孝子を擁立予定 03-5751-7105

江戸川ネット

ひとみとみつえと井戸端会議(毎月第3木曜日) 9月15日(木) 20:00～ Zoom 江戸川区議の伊藤ひとみ・本西みつえとZoomでのお話し会 03-5607-5975

東村山ネット

ハテナサロン第3回親子で学ぶ性教育 9月18日(日) 14:00～16:00 ふれあい工房多目的スペース美住(西武多摩湖線八坂駅) / オンライン併用 講師:川野元子(助産院BLBホーム) 300円 申し込み9月13日まで 042-392-7677

武蔵野ネット

子どもオンブズが目指すもの～誰もが大事にされるまちをつくりたい 9月23日(金・休) 14:00～16:00 武蔵野スイングスカイルーム(スイングビル10階)(JR中央線武蔵境駅) 講師:半田勝久(日本体育大学准教授、世田谷区せたホッと子どもサポート委員) 300円 0422-36-3767

東村山ネット

ハテナサロン第4回インクルシネマの話しよう 9月24日(土) 14:00～16:00 東村山スポーツセンター研修室(西武新宿線東村山駅15分) 講師:杉本ゆかり(NPO法人Lino代表) 300円 申し込み9月20日まで 042-392-7677

府中ネット

男女平等の視点から見る「女性の労働」～セクハラ、マタハラ、雇用差別を考える～ 10月1日(土) 13:00～15:00 府中市男女共同参画センター「フチュール」(京王線中河原駅) 講師:谷村明子(弁護士) 主催:府中ネット(男女共同参画センター登録団体) 080-6584-0800 (佐々田)

生活者ネットワークは東京都内34の自治体にあり、都議1人、市・区議40人の女性議員とともにそれぞれの地域課題に取り組むと同時に、市や区をこえた「東京問題」には全体で取り組んでいます。

東京を生活のまち、安心・共生・自治のまちにするために発言を続けます。



都庁の会議室とオンライン併用で開催された「市民と行政の協議会」で進行役をつとめる岩永やす代

身近な暮らしから 省エネ・再エネ推進を

協議会では、都内CO₂の7割が建築物由来であることから、都がすすめる建物の断熱・太陽光

発電を新築住宅だけでなく既存住宅にどう採り入れるか、太陽熱や地中熱の有効利用、市民団体と協働しての地域のポテンシャル調査、帰宅困難者対策として一時滞在施設で蓄電池に太陽光発電

2050年温室効果ガス排出ゼロを見据え、2030年までに50%削減する東京都のカーボンハーフの取り組みを市民とともに推し進めるためには何が必要か。7月21日に、市民と行政の協議会※『2030年カーボンハーフくらから省エネ・再エネを進める』を開催。会場とオンライン合わせて113人(都議会議員4会派9人含む)が参加し、市民が行政に質疑・提案する活発な議論の場となりました。

市民参加でカーボンハーフを実現 省エネ・再エネを進めよう！—市民と行政の協議会を開催

福祉や教育との連携は必須

さらにドイツの先進事例を参考に、失業者を省エネ診断員に育成し雇用して相談に応じるとともに、低所得者に省エネ機器を無償で提供するなど貧困対策との連携や、熱中症や急激な温度差によるヒートショックなど健康被害対策として、高齢者住居の断熱・省エネ推進など、福祉と連携した取り組みが提案されました。

未来世代からの発言では、大学生より「気候市民会議」の開催、子育て世代からは、子どもたちが自分事として取り組んでいくため

に教育との連携が訴えられました。
ストップ！原発再稼働
エネルギーの地産地消を進めよう

世界が気候危機対策として脱炭素に動いている中、ロシアのウクライナ侵攻の影響で、原油や天然ガス価格が急騰しています。日本ではさらに円安が加わって電

気が値上がりする中で、冬に向けた電力逼迫を理由に、政府は原発再稼働に動いています。しかし、原発のリスクは自然災害や放射性廃棄物だけでなく、今回の戦争で武力攻撃に対する弱さも露呈しました。3・11以降、国のエネルギー政策を再生可能エネルギーにシフトしてこなかった結果です。今こそ、私たちの住まいや

身近な地域から省エネ・再エネを大幅に進める必要があります。若者たちは、急激な気候変動が次世代や弱者に影響が大きいことから立ち上がり、気候正義を掲げて行動しています。命にかかわる環境問題として、市民と連携し、東京から、そしてくらしの現場から省エネ・再エネへの変換を加速していきます。

先日の参議院選挙終盤の7月8日、応援演説中の安倍晋三首相が銃撃され、死亡しました。いかなる理由があろうとも、暴力により人命を奪うことは断じて許されません。

しかし、選挙直後に岸田首相が突然、安倍元首相の葬儀を「国葬」にすると発表し、議論のないまま9月27日に執り行う旨、閣議決定したことについては、強く抗議するとともに、東京・生活者ネットワークは「国葬」への反対を表明します。

政府は「国葬」にする理由として、「歴代最長の任期期間と、内政・外交での大きな実績」を挙げていますが、集団的自衛権行使に係る強引な憲法解釈変更や森友学園に係る公文書改ざん、桜を見る会の問題など、安倍政権の、民主主義の根幹を揺るがす政権運営に、多くの国民は、この十数年来、何度憤ってきたこと

でしょうか。そして、数々の疑惑は今なお未解明のままにあります。さらに、今回の銃撃事件の背景にある旧統一教会に関与した国会議員は、実に安倍派に集中しており、国会議員と宗教法人との依存関係、政治と宗教のあり方こそ問われなければならないと、生活者ネットワークは考えます。

安倍元首相の政治家としての評価は、歴史的経過のなかで主権者・市民が下すべきものであり、そもそも安倍氏退陣直前の支持率は、「支持する」34%、対して「支持しない」47%であった事実を厳粛に受け止めるべきです(NHKによる世論調査)。重ねて、法的根拠がないままに現政権が独断的に全額国費で賄う「国葬」とし、疑惑を糊塗し実績を美化することは許されるものではありません。

共同通信による世論調査でも、国葬に「反対」「どちらかと言えば反対」の計53.3%が、「賛成」「どちらかと言えば賛成」の計45.1%を上回っています(7月30日付)。官邸前行動やオンライン署名、国葬

に係る予算差し止め訴訟など市民から反対、抗議の声が続々と上がるなか、国会審議もないまま、当然のごとく「国葬」とすることで、憲法改正など安倍元首相の政治路線を引き継ぐことへの付度が強まり、旧統一教会問題を含め未解明の問題を追及する勢力に影響することになれば、それはまさに民主主義の崩壊であり、主権者・市民への冒瀆です。

また、「国葬」とすることで、『弔問外交』で国際社会での影響力を高め、保守支持層を引き寄せたいという岸田首相の思惑は、民意よりも政権維持を優先し、事件を政治的に利用するという発想であり、言語道断です。

よって、東京・生活者ネットワークは、安倍元首相の「国葬」に断固反対するものです。

2022年8月5日 東京・生活者ネットワーク



8月16日、「安倍「国葬」やめろ!緊急市民集会&デモ」が取り組まれ、約1000人が参加。落合恵子さんらの発言のあと、鎌田慧さん、前川喜平さん、永田浩三さんを先頭に、新宿駅周辺をデモ行進した

いま
NOW

みなさまのカンパを募集しています。郵便振替口座番号 00130-3-18417 加入者名「東京・生活者ネットワーク」

Information

さようなら戦争 さようなら原発 9・19大集会

改憲発議と大軍拡やめろ! 「戦争法」強行から7年 福島原発事故を忘れない
9月19日(月・休) 13:30~集会 13:00~プレコンサート 代々木公園野外ステージB
地区ケヤキ並木 デモ出発15:15 戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会
／さようなら原発・1000万人市民アクション実行委員会 03-3526-2920 / 03-5289-8224

沖縄連帯コンサート

9月24日(土) 14:00~ サンパール荒川大ホール(都電荒川線荒川区役所前) 沖縄を
唄う/対談:池辺晋一郎・大石芳野/混声合唱組曲「沖縄(ウチナー)の雲へ」 全席自由
2000円、当日券2500円 「悪魔の飽食」をうたう東京合唱団 090-7178-0571 (平田)

安倍元首相の「国葬」に反対する街頭アピール

9月25日(日) 16:00~17:30 新宿駅南口 呼びかけ:「国葬」させない連続アクト
ン 連絡先:沖縄への偏見をあおる放送をゆるさない市民有志 nonewsjyoshi@gmail.
com

いながき孝子

いながき・たかこ



■ 1966 品川区生まれ。第一
日野小学校、日野中学校、大
崎高校卒業 ■ 90 國學院大学

文学部史学科(2部)卒業

■ 90~ 民間企業、東京職業能力開発セン
ターなど外郭団体に勤務 ■ 96~2000 しな
がわ女性フォーラム実行委員 ■ 97~98 男
女共同参画のための品川区行動計画推進会
議(第5期)委員 ■ 09~10 尾崎行雄記念財
団等塾塾生、現会員 ■ 10~ 一般社団法人
「構想日本」勤務 ■ 14~ 放射2号線を考え
る会事務局 ■ 22~ 住み続けられるまち
づくりをめざす品川区民の会副代表、品
川・生活者ネットワーク政策委員長 ■ ケーブルテ
レビ品川 区民カメラマン・アナウンサー、義仲
巴ら勇士を讃える会理事など ■ 趣
味:歴史探訪、古武道、弓道、読書、
旅行 西五反田在住



品川・生活者ネットワ
ークは、2022年9月25日告
示、10月2日投票の品川
区議会議員補欠選挙にむ
けて、新人・いながき孝子
の擁立を決定しました。

2022年10月
品川区議会補欠選挙にむけて

2013年9月に東京開催が
決定してからも、金がかかり過ぎ
ると異議が噴出し見直しになっ
た国立競技場や、盗作疑惑で再
公募された公式エンブレム、そし
てコロナパンデミックによる1
年延期、さらには組織委員会会長
の女性蔑視発言、開会式の演出や
作曲担当者の差別発言発言によ

る解任など、オリンピックをめぐ
る不祥事は枚挙にいとまがない。
6月に組織委員会が取りまと
めた大会経費の最終報告では、オ
リンピック・パラリンピック東京
大会経費が1兆4238億円とな
った。一時は2兆円から3兆円
と言われていた経費が批判を浴
びて圧縮、2021年12月の最

東京オリンピックが終わって
1年、またもや不祥事が発覚、組
織委員会をめぐる受託取崩容疑
の捜査が始まっている。オリ
ンピック招致に関わる贈賄疑惑も
解明されたとは言えず、組織委員
会が解散した今も問題はそも
まだ。

不祥事の嵐

昨年、コロナ真つ盛りの中で強
行された2020東京大会は、
図らずも、巨大イベント「オリ
ンピック」の矛盾や問題が露呈する
結果となった。生活者ネットワ
ークは、当初から商業主義のオリ
ンピックに反対してきたが、これほ
ど欺瞞が渦巻いているとは思っ
ていなかった。



国立エソラホールにて都政フォーラムを開催し
から、国分寺市議の高瀬かおる、小坂まさ代、国
立市議のこはまかおる、岩永やす代、7月30日

終見通しでは1兆4530億円
としたものの、結果的には招致時
見積もり7340億円の2倍で
終了した。だが、都の21年度予算で
は大会経費と大会関連経費合計
の東京都負担額が1兆4500
億円となっており、オリンピック
には、競技会場だけでなく道路整
備や輸送インフラ、選手村の基盤
整備に莫大な予算がつぎ込まれ
たことがわかる。競技会場が負の
レガシーとなるのではないかと
いう指摘も多い。

また、オリンピックと冠すれば
「なんでもあり」とばかりに、大会
終了後の今になって動き出した
のが神宮外苑の再開発。国立競
技場建て替えの大騒ぎで終わり
ではなかった。100年かけて
育った都心の貴重な緑が失われ
ることに多くの反対意見が示さ
れている。

何があんでも中止させない

「東日本大震災からの復興」を
理念としコンパクトな大会を掲
げて招致した東京大会は、コロナ
によって中止ではなく延期にな
り、「コロナに打ち勝つ

た証し」に理念を変え
た。金まみれのIOC
は、爆発的な感染拡大
のなか批判を浴びてお
じける日本政府や
IOC、組織委員会、東
京都から中止の選択肢
を封じ、多くの都民が
中止を求めたにもかか
わらず無観客で開催を
強行した。

感動を呼ぶスポーツ
本来の価値と、商業主
義の欺瞞に満ちたオリ
ンピックは別物である
ことをはっきりと認識
した大会の総括は未だ
終わっていない。

感動を呼ぶスポーツ
本来の価値と、商業主
義の欺瞞に満ちたオリ
ンピックは別物である
ことをはっきりと認識
した大会の総括は未だ
終わっていない。

みんなで避難所運営ゲーム!
防災減災のまちづくりは
市民の手で



品川生活者ネットワ
ーク
政策委員長
いながき孝子

自然災害が頻発する中、各地
の町会・自治会などでは、様々な
防災訓練が実施されています。
災害を想定した訓練は重要で
すが、なかには「この訓練で、本
当に災害時に役立つだろうか?」
と思うこともあるのではないで
しょうか?

「いざ」に備えろ!
子ども若者、多様な市民の
参加で描く避難所運営

そこで私たちは、簡単に取り
組めてかつ有効な訓練の一つと
して避難所運営ゲームHUG
※を提案します。

HUGは訓練参加者が避難
所運営役となり、避難所に集
まって来る様々な人や出来事
に対して、逐一対応を判断して
いくゲームで、一種の図上訓練
です。「避難所に来る様々な人
や出来事」はカードに記載され
ており、カードの大きさがその
避難者が必要とするスペースを
表しています。例えば赤ちゃん
の家族、要介護者がいる家族
ペット同行避難の方等々、カ
ードを次々読み上げて、様々な
事情を抱えた人たちが次々に
所につくってくることをイメージ
し、素早く判断をして避難者を

※HUG 避難所・運営・ゲームをローマ字表記したときの頭文字をとって名付けられたゲーム

HUGのようなゲーム形式
の訓練に子ども若者も含めて多
くの市民が気軽に参加し、日頃
から避難所運営について具体
的な想定をすることが地域の防
災・減災の力を高め、行政への有
効な提案にもつながると、私
たちは考えます。

編集後記/この20日、大田区内で催された平和集会に。恒例となった市民集会のゲストは、長崎で被爆した日本原水爆被害者団体協議会の事務局次長、
和田征子さん(78)。自身の被爆体験や、おとなたちから聞き知った原爆投下と被爆者の実相を伝える「証言」を、和田さんの肉声で聞く。加えて、
国連本部(NYC)で今夏ようやく開かれた核拡散防止条約(NPT)再検討会議で登壇した和田さんから、自身の演説の様子を記録写真と共に報告い
ただく。世界の核軍縮は遅々としており、念願の核兵器禁止条約が発効してなお停滞が続く。どころか、ウクライナ侵攻を巡りロシア政府は、核兵器使
用をも示唆する事態にある。和田さんは「核保有国と同盟国は、自国の不誠実と傲慢のために人類が核戦争の瀬戸際にあることを認識すべきだ」「核
兵器を開発したのが人類であれば、廃絶することができるのも人類だ。絶望の淵にあっても、私は希望を失っていない」と、繊細でありながら力を
内に秘めたうつくしい声で、この日の対話集会をまとめられた。反核・原発ゼロこそSDGsの筆頭であるべき、と再確認した、和田さんとの出会い。(加藤)

都政
NOW
区市とつなぐ